

～認知症について理解を深めませんか?～

「ふくしまつり」 in ビレッジバード

認知症カフェ「Village bird(ビレッジバード)」では、地域住民との交流や認知症に関する学習の場として、「ふくしまつり」を毎年開催しています。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、2年ぶりの開催となる今回は、認知症の理解を深める映画の上映等を行います。

認知症は、家族や身近な人など、誰にでも起こりうる脳の病気です。もし認知症になったとしても、できる限り住み慣れた場所で安心して暮らすためには周囲の理解が必要です。この機会にぜひ、ご参加ください。

日時▼3月5日(土) 午前10時～午後0時15分

場所▼白方コミュニティセンター

定員▼先着35人

内容等▼



| | 時間 | 内容 |
|-----|------------------|--|
| 第1部 | 午前10時～11時45分 | 映画鑑賞「ケアニン ～あなたでよかった～」 介護福祉士(ケアニン)と認知症の方の生活模様から、認知症の方への寄り添い方について学べる内容です。ケアに関わる方はもちろん、そうでない方も、見ると前向きな気持ちになれる映画です。 |
| 第2部 | 午前11時45分～午後0時15分 | グループホームメジロ苑での認知症ケア |

参加費▼無料

その他▼新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止・延期となる場合があります。

申し込み・問い合わせ▼2月14日(月)以降に、地域包括支援センター(☎287-2516)へ申し込みください。

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



子どもたちと過ごす毎日は輝かしい瞬間であふれています

私は、幼稚園に通っていた頃の担任の先生に憧れて保育士になりました。大好きな先生や友達と砂場で遊んだことや、こま回しやたこ揚げを教えてもらったこと、園外保育でお弁当のおかずを交換したことなど、先生に教えてもらったたくさんの遊びと思い出は、大人になった今でも楽しい記憶として鮮明に残っています。子どもたちにも楽しい幼少期を過ごしてほしい!という思いから保育士を志望した私は、実習先で大好きだった担任の先生と会うことができました。自分のことを覚えてくれていたことがとてもうれしくて、保育士になりたいという思いがより強く

なりました。

実際に保育士として働いてみると、一緒に過ごすことで心の距離が縮まるのを感じたり、子どもたちが昨日までできなかったことができるようになったりと、数え切れないほどたくさんの輝かしい瞬間があふれていました。かわいい子どもたちの成長を間近に感じることができ、なんて幸せな仕事なんだと感じ銘を受けました。

そんなすてきな時間が流れる中で、最もやりがいを感じる瞬間は、子どもたちと遊んでいるときです。子どもにとつて遊ぶことは何よりも大切なことで、保育士と一緒にその時間を共有することで楽しさも2倍になっていきます。うれしそうな子どもたちの輝く笑顔を引き出せたときは、「保育士になれてよかったな」と、この上ない喜びを感じます。

子どもたちと真剣に向き合い、たくさん遊び、喜びや悲しみを分かち合いながら、一人ひとりの成長の手助けができる——。こんなに毎日が充実して尊い仕事はほかにないと思います。輝く毎日を送りたいと思っている方へ、一緒に誰かにとつての「憧れの存在」になってみませんか。

舟石川保育所

諏訪美咲 保育士